

10月12日（土）

自分自身を他人の目を通して見るには、注意が必要だ。

この習慣には、いくつかの危険性がある。

まず第一に、ほかの人があなたのことを本当はどう考えているか見抜くのは、ほとんど不可能だということ。

さらに、あなたに対する他人の見方は変わりやすい—それぞれの人の信仰や気分や体調に左右される。

あなたはこんな人間だと人に定義させることの最大の問題は、それが偶像礼拝に似ているということだ。

人を喜ばせようと気を遣うことは、あなたの創造主であるわたしを喜ばせたいという願いをそこねるものだ。

“わたしの目”を通してのほうが、はるかに真実のあなた自身を見ることができる。

あなたを見つめるわたしのまなざしは、ゆるぎなく確かで、罪に曇らされていない。

わたしの目を通してあなたは、深く永遠に愛されている者としての自分の姿を見ることができる。

愛をこめて見守るわたしのもとで憩い、深い平安を受け取り

